■宇津戸地区臭気問題の解決にむけて
■ゴミ収集費用の削減に務める

厚生常任委員会

①宇津戸下仮屋臭気問題について

現地調査　宇津戸の下仮屋集会所に出向き、地元対策協議会長外4名より経過と現状について説明を聞く、この地区には7箇所の事業所が集中しており他地域から搬入されている物もある。RDF施設建設時には甲山町長と公害防止協定の制定、行政窓口の一本化、5町以外のゴミを受け入れない事などを含む11項目の「覚書」を締結。3町合併と同時に県条例による臭気指数を導入しての臭気規制地域に指定され「世羅町宇津戸下仮屋地区公害対策委員会」として、会費徴収、会則制定して年2回の現地視察など活動している。この臭気問題は指数にこだわらず解決して欲しいと地元の要望である。この対策には、費用と施設改善に向けた具体的な動きと指導が必要であり地元対策委員会と事業所、行政の3者が共通の土俵で協議する必要がある。

急がれる臭気対策

②古紙回収について

「平成17年度は予算と古紙の量から判断して隔月で収集する予定、今後は処理業者2社、町内1社に対して入札参加を要請している。」との説明があり、委員からは「住民は既に収集場所でなく有料で回収する業者へ直接持込をする方もあり、行政のコスト意識と住民意識とのギャップがあり、収集方法は再検討を要する。」という意見が出た。

③ゴミ収集費用について

12月において継続審査となっていたゴミ袋の無料化については、「無料化にすると分別収集を阻害し、ゴミの量を増やすことになる。」と委員の共通の認識で不採択と決した。当町の収集費用は近隣町市との差が大きく担当課から納得のいく説明が出されなかった。積算根拠が定かでなく納得できない部分が多い。「予算に大きく影響している状態での予算化には納得できない。」「しっかり検討する必要がある。」「ゴミの問題は古紙回収など担当課だけで考えないで企画情報課の自治振興との絡めて検討すべき。」など出た。今回の意見を尊重するように強く要請をした。

財政難対応は職員給与カットから

総務文教常任委員会

①組織、機構の事務調査

総務課長への事務調査

(1)職員給与カットと組合交渉確認書について

給与条例表中1級2級は2%、3級4級は3%、5級は4%、6級7級は5%を減じた額に。

(2)退職者数と退職金の額について。平成16年9月30日、6億2千2百万円余。平成17年3月末退職は5名の予定。

(3)課長補佐の業務明細について。現在8名。事務内容調査。

②学校給食についての事務調査

(1)3箇所の給食センターを現地調査した。

甲山給食センター　職員9名　1日当り633食調理

世羅給食センター　職員13名　1日当り1005食調理

せらにし給食センター　職員6名　1日当り320食調理

(2)その他、地産地消に伴う食材の供給、米飯給食、給食費、人事体制、職員状況などについて調査、なお合併協議では、平成18年度から給食費、給食形態の統一を図ることになっている。

③陳情審査について

(1)陳情10件で委員全員慎重に調査し審査した。なお、12月議会で継続審査となっている要請書が本委員会においても結論を得ることが難しく、継続審議とした。

給食風景

甲山Ⅰ・C以北、17年度から補償交渉へ

尾道・松江線対策特別委員会

●進捗状況

甲山Ⅰ・C以南では、80％の工事発注が終り、落札企業との工事についての地元説明会が3月中旬から4月下旬に相次いで行われた。甲山Ⅰ・C以北については17年度中に、最終用地測量、土地単価発表を行い、秋頃より補償交渉を進める予定。

上部工を待つ橋脚部

●大規模農道に第2Ⅰ・Cは

国交省に一度提示しているが、まず本線の完成が先であると考えて要望とまでにはいたっていない現状がある。総工費がいくらになるかについては、概算で4億～5億と予定しているが、将来的展望にたった時、設置すべきと考えている。今後大事な問題なので、十分に調査し、多くの方の意見を聞きながら、関係機関との交渉を前向きに進めて行きたい。

山口町長 代表取締役社長に就任

県民公園建設特別委員会

㈱セラアグリパークの株主総会、取締役会議が2月7日に開催され新体制が決まった。

代表取締役社長　山口寛昭氏（世羅町長）、**監査役**　久保正道氏（世羅町収入役）、**代表取締役副社長**　小西新太郎（小西酒造㈱代表取締役社長）、**取締役**　金尾則満氏（世羅町助役）、**取締役**　園田正彦氏（三井物産戦略研究所）、**監査役**　野々村孝志氏（㈱ダイナック）、**監査役**　山野史雄氏（小西酒造㈱）

なお、取締役、監査役の就任は個人としての就任である。年間の管理運営費は㈱セラアグリパークとワイナリー、レストラン、ファーマーズマーケットと契約をし3千3百万円から3千5百万円の固定費とし売上げが超えたら一定の割合で上乗せをすることとなっている。ファーマーズマーケット部門については、売上げ高から15％程度の予定で、共通経費として約50万円程度の負担を見込んでいる。

人事

■選任同意

町長から選任同意が求められ同意いたしました。

◎人権擁護委員

福永信子氏が、議会の同意を得て選任されました。

皆さんからの陳情と請願 このように決めました

■採択となったもの

◎町内印刷業者の入札参加についての陳情
提出者
㈲コレキチ印刷所　代表　是光潔己
㈲マツダ印刷所　代表取締役　松田松子
㈲オフィスリンデン　代表　瀬尾陽子

◎甲山小学校体育館建て替えについての要望
提出者　甲山小学校ＰＴＡ会長　森田英子
甲山小学校安全育成委員長　石丸博

◎世羅町合併にともなうスポーツ少年団活動に対する町行政のご支援とご理解について陳情
提出者　世羅町スポーツ少年団　本部長　新谷佳敬
世羅西町スポーツ少年団本部長　上中恭男
甲山町スポーツ少年団　本部長　舛谷晴通

◎成人式の開催日変更に関する要望
提出者　甲山町商工会　会長　山平正登
世羅町商工会　会長　松尾義和
世羅西町商工会　会長　佐々木毅

◎安全で安心な世羅町づくりに関する要望
提出者　世羅郡防犯組合連合会　会長　黒木實

◎安全で安心な世羅町づくりに関する要望
提出者　甲山警察署協議会　会長　井口清紀

◎教育関係予算の確保その他について要望
提出者　（社）広島県教育会世羅支部　会長　黒木武彦

◎通学路の安全対策についての要望
提出者　世羅町立甲山中学校ＰＴＡ会長　安石英一

◎町内業者への工事・委託・物品等の発注について請願
提出者　世羅町商工会　会長　松尾義和

■不採択となったもの

◎家庭ゴミの収集を無料にすること求める請願

■継続審査となったもの

◎三位一体改革における国土保全施策（治山事業）の取り扱いについての陳情

◎「憲法改善反対」意見書採択を求める要望

◎野球専用球場（ボールパーク）の建設について要請

■発行／世羅町議会議長　後藤審三郎　■編集／広報広聴調査特別委員会　■事務局／広島県世羅郡世羅町大字西上原一二三番地一　☎0847-22-4511

クラブ訪問「お茶を楽しむ会」

会員11名
宇津戸　会長　内海　一枝

桜満開の下で保育園児と共に茶会

発足してまだ3ヶ月余り、会のなまえは気軽にお茶を愛することから始めようと『お茶を楽しむ会』としました。

桜の満開の下で何が起きるのか保育園児のいささか緊張してこわばった顔が又たのもしくもある。顔一杯の大きなお茶わんがおもたくても、園長先生の優しい笑顔でほっと一息。会長の内海一枝様にお聞きしました。

「お茶の基本理念には「和敬静寂」という言葉があります。保育園児と共に一服のお茶を飲むことを通じて、人と人の交わりを深めて、お互いに尊重し合い、相手を思いやり理解し合う誰でもが持っている「和敬静寂」の精神を呼び起こすことでもあるのです。お茶を通じてこれが理解できる様になればすばらしいことと思います。まずはなごやかに気軽にお茶を愛すること、お茶を楽しむことから頑張ってみようと思ってます」と話されます。

たしかに、バランスのとれなくなった今の世、人間同士はもちろん、自然界すべてのものに対する思いやり、いたわり、尊敬の念を持つことによって、譲り合う気持ちが生まれ、和が保たれ穏やかな気持ちでいられる心、茶道を通じて自分を深める事の大事さをしみじみ味わわせていただいた訪問でした。会のますますの発展にいっぱいいっぱいの応援コールを送り、取材を終えました。

議会だよりせらアンケート結果回答　39通

①議会に関心がありますか
ある34（86％）　少しある4（11％）

②議会だよりを読んでいますか
読んでいる35（88％）　時々読む3（8％）

③読みやすいですか
まあまあ21（50％）　読みやすい10（28％）
読みにくい2（5％）　感じない4（11％）

④内容はどの程度読みますか
全部読む28（69％）　見出しだけ読む2（5％）
興味ある記事だけ読む8（22％）

編集後記

3月定例会、21日間の会期で71議案を審議しました。3町合併して新生世羅町となり、初めての平成17年度一般会計予算115億2千万円も可決成立し終了しました。大変厳しい財政状況で予算はもとより議案も一定の整理をした改廃案件でありました。中には取り下げになった議案もあり問題を先送りした感もあります。予想を越えた財政難またそのことを踏まえた議案が町民にどこまで理解し受け入れられるかが心配されるところです。問題を山積しての新町の船出であります。行政や職員、議会としても正面から問題の解決に取り組んでいかねばならないところであります。「議会だよりせら」1号でアンケートの企画をしたところたくさんの方の御協力を頂きました。ご指摘なりご意見は今後広報に生かす所存であります誠にありがとうございました。また広報委員6名は2月に全国広報研修会に参加しました。より良い広報の作成に一層努力いたします。

（仙光）

お詫び

新町となり創刊号を発刊いたしましたが、一部豊田勲氏の名前が薫となっておりました。また他4件の誤字がございましたことを訂正しお詫びいたします。

議会広報調査特別委員会
・委員長／小川信晃
・副委員長／仙光保喜
・委　　員／松本・末盛・田坂・松浦

議会を傍聴してみませんか
次回定例会は6月です
無線放送でお知らせします。

PRINTED WITH SOY INK　この広報は、環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。